大学生における旅行の動機について
―観光動機尺度を用いた分析より―

問題関心

◆「旅行」は多様化する余暇活動の中の1つである

◆日本人を対象とした国内・海外旅行に関する研究は未だに少ない

◆大学生は時間やお金の使い方が様々であり，旅行行動にも特徴がみられるのではないだろうか

→「大学生の旅行行動」に焦点をあてる

研究の目的

大学生における観光旅行の動機を明らかにすること

◎観光動機尺度を用いて大学生ならではの特徴を見出す

◎現在の大学生が旅行にどのような条件を求めているのかを明らかにする

調査概要

【調査期間】

2019年7月21日～10月9日

【対象者】

大学1～4回生の男女100名

（男性42人，女性58人）

【調査方法】

質問紙調査

【分析方法】

SPSSによる統計分析

【質問紙構成】

Ⅰ．普段の大学生活に関する質問

・1週間の時間の使い方（時間的繁忙度）
・1ヵ月に自由に使えるお金(経済的余裕)
・心理的繁忙度
・大学生活満足度，休暇満足度など

Ⅱ．旅行に関する質問

・国内，海外旅行意欲
・過去と現在の旅行頻度
・訪れたい場所に関する質問
（地名・日数・予算・同行者など）
・旅行重要視項目 7項目
・観光動機尺度　24項目

結果① 大学生の旅行意欲

◆大学生の旅行意欲

国内旅行意欲（平均値4.56）
海外旅行意欲（平均値4.01）

→ 大学生の旅行意欲は高い

◆“忙しさ”と旅行意欲の関連性

「大学生活は毎日忙しいと感じる」

	国内旅行意欲	海外旅行意欲
心理的繁忙度	.25 *	.07
時間的繁忙度	.20 *	.00

* $p < .05$

1週間の活動頻度

結果② 過去の旅行経験

◆旅行意欲について

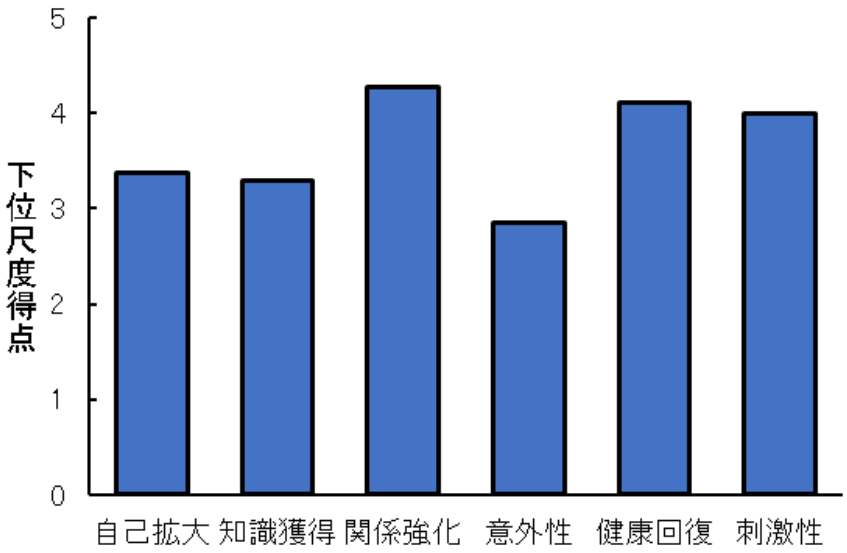
		幼～小	中～高	大学
家族旅行	幼～小	―		
	中～高	.74 **	―	
	大学	.53 **	.64 **	―
現在の旅行頻度		.52 **	.59 **	.75 **

** $p < .01$

幼い頃からの家族旅行頻度は
現在の旅行頻度に影響を及ぼす

結果③大学生の観光動機尺度

全24項目に対して6因子を想定し，因子分析及び分散分析を行った



自己拡大	旅行を通じて自らを新たに成長させたい
知識獲得	旅行先での文化や自然，歴史について学びたい
関係強化	同行者との関係を深めたい
意外性	旅行においてあまり計画を立てず，流れに任せた旅行がしたい
健康回復	日常生活での疲労や心身の疲れを癒したい
刺激性	旅行に新奇性や日常からの変化を求める

結果③大学生の観光動機尺度

【下位尺度得点の高い項目】

関係強化
様々なコミュニティの中で生まれたきっかけをもとに人間関係を深めることを期待する

健康回復
大学生活の中で積み重なったストレスがあり，疲労感の解消を期待している

刺激性
日常生活とは違った経験や新しい刺激を求める

【下位尺度得点の低い項目】

意外性
行き当たりばったりではなく事前に計画することを好む

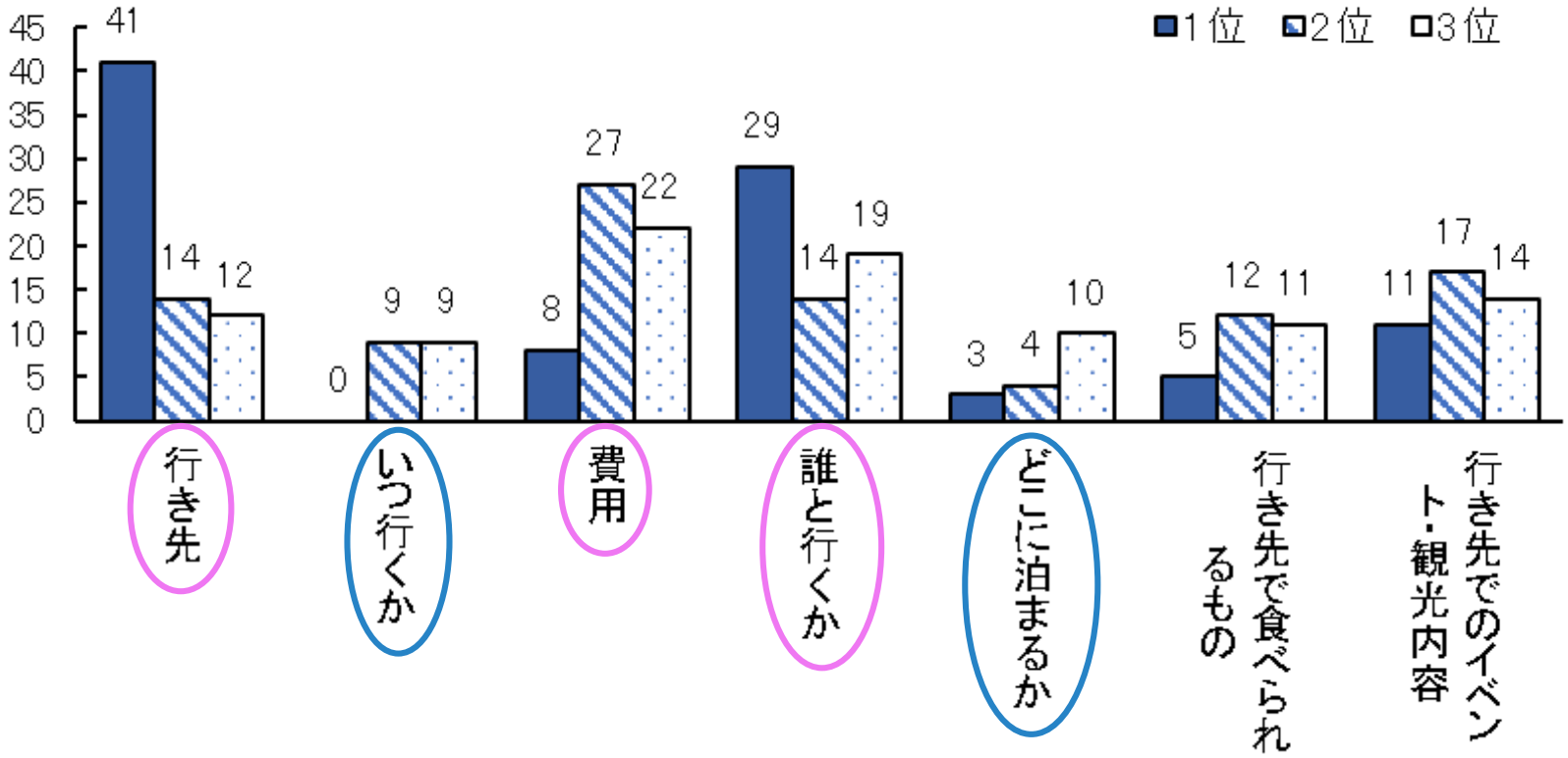
【先行研究との比較】

含まれていない項目

中年層の特徴

若年層はどちらも平均値が高く，新奇性を求める

結果④大学生の旅行重要視項目



結果④大学生の旅行重要視項目

【重視する項目】

〈費用〉〈行き先〉〈誰と行くか〉

1ヵ月に自由に使えるお金
約3万5,000円

予算　国内旅行　約6万3,000円
海外旅行　約23万8,000円

【あまり重視しない項目】

〈いつ行くか〉〈どこに泊まるか〉

・大学生は比較的 時間 に融通が利く

・宿泊は旅行の 主目的 ではない

→ 費用を抑えながら貯金を使って旅行をしている

考察①

◆大学生の旅行意欲は国内・海外ともに高く,

忙しさによって旅行意欲が抑制されることは少ない

◆幼い頃から家族旅行に行く習慣がある人は,

大学生になっても余暇の過ごし方として旅行を選択する可能性が高い

考察②

旅行では･･･

◆同行者との人間関係の強化を期待している

◆日常生活では味わえない新奇的な体験を求め，退屈感や積み重なったストレスの解消に繋げている

◆限られた予算の中でより充実した旅行をするために事前に情報を収集し，計画を立てている

ご清聴ありがとうございました